

## ②第23回 大商大ビジネス・アイディアコンテスト

「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とする本学では、ビジネス社会における諸問題を発見・解決できる能力の育成を目指し、起業家精神あふれる人材を育成しようとする取組みの一環として2003年度から「ビジネス・アイディアコンテスト」を開催しています。

本コンテストは本学の学部生・大学院生を対象とし、新しい商品・サービスやビジネスモデルのアイデアを競います。

部門は自由部門と3企業・団体からの課題に取り組む企業部門を設定し、スマイルキッズ株式会社、東大阪市異業種交流グループ創遊夢、株式会社万代に課題提供企業として審査等でご協力いただきました。

応募締め切りまでに課題提供企業による説明会やワークショップを開催し、学生の応募支援を行いました。

今年度は744件（自由部門:427件 企業部門:317件）の応募がありました。

第2次審査にむけて第1次審査通過者を対象としたサポートプログラム「プレゼン道場（プレゼンテーションスキル ブラッシュアップ講座）」を9月4日（木）、8日（月）の計2日間実施しました。

1日目は、プレゼンテーションの基本的な知識や方法について学び、2日目は、ファイナル・ステージの会場で一人ずつ前に立って発表する練習を行い、同じ第2次審査に挑戦する仲間と講師からアドバイスをもらいながら取り組みました。

また、最終審査にむけてファイナリストと企業賞受賞者を対象とした「プレゼン資料作成講座」を開催しました。PowerPointを使って資料作成を行う際のテクニックを学ぶ講



座を9月24日（水）に開催しました。

10月25日（土）にファイナリスト8名によるプレゼンテーション審査及び企業賞受賞者2名の発表を実施し運営は学生運営委員が担当しました。

審査結果としまして、学長賞、副学長賞、東大阪商工会議所会頭賞、特定非営利活動法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞各1名、審査員特別賞4名が決定しました。

上位4名に副賞として贈られる海外ビジネス研修については、今年度はマレーシア クアラルンプールでの海外ビジネス研修を実施しました。

今後も学生があらゆる場面でいろいろな経験・体験できるプログラムを構築し、そのことにより起業家精神あふれる人材の育成につなげたいと考えています。

### 【学生運営委員の紹介】

本コンテストに関わった学生が中心となり、運営に参加しました。受賞者・審査員の誘導、司会、ステージマネジメント、賞状授与のサポートなどを担当し本番では思いもよらないイレギュラーな出来事にも落ち着いて学生たちで対応しました。



- |     |    |                   |        |
|-----|----|-------------------|--------|
| 1年生 | 5名 | 太田みさえ【経済学部経済学科】   |        |
|     |    | 川端 彩日【経済学部経済学科】   |        |
|     |    | 服部茉莉奈【経済学部経済学科】   |        |
|     |    | 二反田結衣【経済学部経済学科】   |        |
|     |    | 藤田 雪華【総合経営学部商学科】  |        |
| 2年生 | 2名 | 八木 結愛【総合経営学部商学科】  |        |
|     |    | 松尾 直樹【総合経営学部公共学科】 |        |
| 3年生 | 2名 | 新免 怜奈【総合経営学部経営学科】 |        |
|     |    | 長光 萌【総合経営学部商学科】   |        |
| 4年生 | 1名 | 阿部 萌霞【総合経営学部経営学科】 | 合計 10名 |

## 第23回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト 受賞アイデア紹介



### ☆学長賞☆

◎総合経営学部商学科2年 高岡 向葵さん◎

### 【カモフラージュ洗濯ネット】

#### 《企業部門》

「カモフラージュ洗濯ネット」とは、男性物の服の形をした洗濯ネットです。

この製品は「女性が、安心・安全にベランダに洗濯物を干したい」というニーズに応えた商品です。

洗濯物を干す際に、カモフラージュしたい服の上にかぶせて使用します。そうすることで一見、男性物の服を干しているように見え、洗濯物で女性の一人暮らしだと分かりにくくなります。ニーズに応えるため、洗濯物をカモフラージュしながら、品質を担保して、安全に外に干すことを実現させる商品を考えました。



## ☆副学長賞☆

●総合経営学部商学科4年 森本 都生さん●

### 【ふむやつ】

#### 《自由部門》

「ふむやつ」は足の甲に装着し、足裏でチャーム部分を踏むことで手軽に足裏をほぐせるアイテムです。使用しない時は装飾品として身につけられ、持ち運びも簡単です。装着したまま靴が履けるため、いつでもどこでもマッサージが出来ます。カプセルトイでの販売と小売販売の2段階で販売し、異なる客層へのマーケティングを行います。



## ☆東大阪商工会議所 会頭賞☆

●総合経営学部経営学科3年 市木 康太さん●

※来場者の投票によって決まる「オーディエンス賞」も受賞。

### 【TI（タイ）字カミソリ】

#### 《自由部門》

TI字カミソリは、カミソリの新型モデルです。ペンのように、T字カミソリをキャップに、I字カミソリを本体にすることで、キャップをつければT字、外せばI字に切り替えられるようにし、片付けの際コンパクトに収まるように設計しました。また、背面にはペンと同じようにクリップが付いており、旅先などで鞆の中から探す手間も解消しています。ターゲットは美容意識のある男性（20～30代）と、人と関わる職業の方々です。



## ☆NPO法人東大阪地域活性化支援機構 理事長賞☆

●総合経営学部経営学科3年 増野 ソフィア美羽さん●

### 【のりがいらない！シールで貼るだけシート】

#### 《自由部門》

このアイデアは、リングノートにプリントを貼る際に使える「のりがいらない！シールで貼るだけシート」です。このアイデアは小さい四角形のフィルム状のシートにリングに通すための切れ込みの入った穴、プリントを貼り付けるためのシール部分が付いていることが特徴です。剥がれにくさ、取り付けやすさなど既存の商品やスティックのりにはない強みを持っており、学生のノート提出の味方になるアイデアです。



## ☆優秀賞☆（4名）

●総合経営学部商学科3年 西村 明日香さん●

### 【くるっと印鑑ケース】

#### 《自由部門》

全体がゴムでできた印鑑ケースで、ケースを筒状に丸めることで印鑑を収納することが出来る製品です。既存の製品と違い、柔らかい素材を使うことで印鑑への傷を防ぎつつ捺印マットとしての機能を加える事が出来ています。ターゲットは使用頻度がそれほど高くないものの、急に印鑑が必要になる人で、毎日持ち歩いても負担にならないようなコンパクトさを追求しました。



◎総合経営学部経営学科3年 福本 拓実さん◎

## 【ツイズ・スプレー】

《自由部門》

2つのスプレーボトルの底部同士をくっつけたもので中に化粧水などを入れて使用する。結合には磁石を使い、磁石なので合体と分離が簡単にできる。また、スプレーボトルだけでなく、乳液を入れられるボトルや美容クリームを入れるケースもアタッチメントとして存在し、合体・分離機能を使ってニーズに合わせたカスタマイズができる。洗面所やドレッサーを占領する美容品のボトルの数を減らす、または旅行先でスキンケア用品の取り回しやすく、荷物を減らす目的で考案しました。



◎総合経営学部商学科2年 湯澤 滯さん◎

## 【ベルトキープクリップ】

《自由部門》

アイデア名は「ベルトキープクリップ」です。ベルトを締めた時の余ってしまう部分を留めることが出来るクリップです。おしゃれを楽しみながら、ベルトをスッキリと見せることが出来るアイテムになります。シンプルなものや、装飾が施されたものがあり、ワンポイントアクセントにもなるアクセサリです。ヘアクリップと似た造形で、裏にシリコンが付いているため、ベルトを痛めることなく使用することが出来ます。



◎総合経営学部商学科1年 渡邊 璃王さん◎

## 【「ありえへん！」超チーズ弁当】

《企業部門》

私が考えた「超チーズ弁当」はチーズ弁当という商品がどこのスーパーにも売っていないという意外性を武器にチーズにチーズを上乗せするというジャンキーな発想を兼ね備えた弁当の商品となっています。私自身がチーズが好きであることから生まれた発想であり、テーマは「ご褒美」であり、お客様に幸せを提供したいという思いで発案させていただきました。



☆企業賞☆（2名）

◎総合経営学部経営学科2年 平岡 龍也さん◎

## 【トリプルガード】

《企業部門》

私が考えた「トリプルガード」は既存の窓ガラスフィルムを進化させたアイデアで、トリプルガードの機能はガラス飛散防止機能、プライバシー保護（防犯機能）、太陽光の遮熱・遮光機能の3つだけではなく、水で貼り付けるタイプにしたり、トイレトペーパーのように適切な長さにカット出来るなどの便利な機能があるのも、大きな特徴の1つである。そのため、トリプルガードは誰でも簡単に扱う事が出来る。ターゲット層は幅広く、地震や台風などの災害による被害が多い地域や、南海トラフ巨大地震の被害が想定される地域だけではなく、小さなお子さんを持つ家庭、高齢者や大学生などの1人暮らしなどを想定している。



## 【なんでも書けるホワイトタンス】

### 《企業部門》

今回のアイデアは身近にある「タンス」にホワイトボードの「書き込む」という価値を付加し、物を収納しながら書き込みや掲示板的な役割を担うことが出来る。つまり、家族間での情報共有の場所として使うことができるとともに収納と記録の両立を図ることができる。また怪我の未然防止として書き込み時に発生するちりを受け止める「L型ボードスタンド」の材質部分をゴム製にする事で安全性に長けているものに仕上げました。



### 事業スケジュール

6月2日(月)~	manabaでの応募受付開始!
6月20日(金)	応募締切 744件の応募がありました!
応募締切後~ 7月7日(月)	ファースト・ステージ(応募書類に基づく書類審査)
7月11日(金)	ファースト・ステージ通過者発表 83件が通過しました!
9月4日(木) 9月5日(金)	<b>ブラッシュアップ講座(プレゼン道場)</b> ファースト・ステージ通過者を対象にセミファイナル・ステージへ挑戦するためのプレゼンテーションスキルアップ講座を開催しました。 ■講師: 勝谷 信一郎 氏 (エクスキャリア株式会社) ①プレゼンテーションとは何かを知る ②プレゼンテーション技術を身につける ③プレゼンテーション体験 ・3分間のプレゼンテーションとフィードバック
9月11日(木)	<b>セミファイナル・ステージ(3分間の口頭発表審査)</b> ファイナリスト(ファイナル・ステージ進出者) 8名と企業賞 2名が決定!
9月24日(水)	<b>ブラッシュアップ講座(プレゼン資料作成講座)</b> ファイナリストと企業賞受賞者を対象にPowerPointでプレゼン資料を作成する講座を開催しました。 ■講師: 勝谷 信一郎 氏 (エクスキャリア株式会社)
10月25日(土)	<b>ファイナル・ステージ&amp;表彰式</b> 7分間のプレゼンテーションを実施。

大商大ビジネス・アイデアコンテスト 受賞作品一覧

第1回 (2006年度)	学長賞	●流通学科1年 木村大樹 「イヤホンのコードがからまない商品」 主にウォークマンに使われるイヤホンの長いコードを絡むことなく収納し、手軽に携帯、取り山せることができる。絡むことをなくすことで、コードの切断等の故障も防ぐことができる。
	副学長賞	●流通学科2年 下前正樹 「健康測定機能付き携帯電話」
	エクステンションセンター長賞	●経営学科2年 竹田英之 「電車事故配信システム」 ●経営学科3年 竹田英司 「駅前コミュニケーションショップ」
	審査員特別賞	●経営学科1年 永野晶子 「大商大『新・学生レストラン』」 ●経営学科1年 山倉正稔 「スポーツ用品のお試しサービス」 ●流通学科2年 木野将喜 「漢字請負サービス〜心屋」 ●流通学科4年 橋本寛之 「ファッションクリエイト」

第2回 (2004年度)	学長賞	●経営学科4年 竹田英司 「コミュニティ・ビジネス和履時代屋」 実家が祖父の代から始まる「和装履き」の生産者であることから、この地域の衰退を少しでも改善しようと考えた。和履教室を開き、顧客自ら作った「和装履き」を歩いて地元観光地・信貴山を歩く他、陶芸教室も開き地域の特徴を活かしたコミュニティ・ビジネスを提案したい。
	副学長賞	●流通学科3年 下前正樹 「芸術品レンタルサービス『アートネット』」
	東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科3年 赤田健 「ちょいベル」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●流通学科2年 松田拓朗 「『レンタル状況』インフォメーション」
審査員特別賞	●流通学科1年 川本大智 「カード式レシート」 ●経営学科1年 野嶋将光 「柄を付けるスポンジ」 ●流通学科1年 前田浩太郎 「CD検索・視聴サービス〜ミュージック・チェッカー〜」 ●経済学科2年 田中敬一郎 「Monkey Mammy (モンキー・マミー)」 ●経営学科3年 大築渉 「訪問セールスお断り!! 通過人数指定オートロックセキュリティシステム」 ●経済学科3年 林保明 「シートベルト着用ランプ」	

第3回 (2005年度)	学長賞	●経済学科1年 山内優美 「病院待合呼び出しサポート！ 〜ワイヤレス骨伝導スピーカー〜」 病院での待合呼び出しは聞きとれなかったり、聞き逃してしまったりすることが往々にしてある。本企画は、高齢者を中心に小型のワイヤレス式骨伝導スピーカーを、「呼び出しベル」として配布するというもの。骨伝導スピーカーは耳に引っ掛けるタイプとすることで、呼び出し音の伝達を確実にする。高齢化社会における必要性が、高く評価された。
	副学長賞	●流通学科3年 島田久 「シミュレーション型インターネット販売 〜シミュレーション・クリック」
	東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科2年 戸村純子 「ちょっとしたプライベート企画サービス “Dayプラン”」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科3年 桶本泰寛 「暇つぶしナビゲーション」
審査員特別賞	●経営学科1年 浦上康弘 「THE訪問革靴磨き」 ●経営学科3年 赤佐謙一 「CAOCA (買おっ)」 ●経済学科3年 川上滋 「e-Fashion-Check」 ●流通学科3年 安崎優 「健康器具の配送レンタルサービス〜お手軽健康.com〜」 ●経営学科3年 吉永秀男 「位置けんさくん」	

大商大ビジネス・アイデアコンテスト 受賞作品一覧

第4回 (2006年度)	学長賞	●経済学科4年 川上滋 「『楽旅』 〜“バスル”方式によるオリジナル旅行プランの作成〜」 インターネットのサイト上で、旅行先の観光名所などを「バスル」方式で選択設定し、オリジナル旅行プランを作成するという企画。旅行当日は、携帯電話のWEB上で行き先案内や時刻表などをリアルタイムで確認できる。
	副学長賞	●経営学科3年 戸村純子 「頭と体の健康は食生活から！『BIOレシビ』」
	東大阪商工会議所会頭賞	●商学科2年 内藤久稔 「新しいファッション通販〜サイズ適合と仮想試着〜」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科2年 永井春香 「動画とリンクするカタログ販売〜ネット融合カタログ〜」
審査員特別賞	●経済学科3年 寺脇千紗 「ペットと一緒にエステ〜飼い主もペットと癒されよう〜」 ●経営学科3年 洲之上和良 「地域密着型アフィリエイトサービスPステーション」 ●経営学科3年 的場尚也 「犬と一緒にきびだんご〜ペットとの一体感を演出します〜」	

第5回 (2007年度)	学長賞	●商学科2年 阿部紫野 「コンビニへの傘レンタルサービス」 ファミリーマートの発行するファミマカード会員限定で「傘」レンタルするサービス。カード会員は、保証金として100円を払うだけで傘を貸し出しOK！傘を返却することでファミマポイント100pt (1pt=1円) が戻ってきます。しかも、全国いつでもどこでも貸出返却可能。このサービスを取り入れることでファミマカード会員の増加が期待できるだけでなく、地球環境問題への対応も行えます。サービスを通して、顧客との関係性を深められるというメリットも。
	副学長賞	●商学科3年 数田綾乃 「プチデザイナー SHOP」
	東大阪商工会議所会頭賞	●商学科3年 酒井久実 「デートプランブック〜シークレットラブストーリー〜」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科3年 内藤久稔 「Driving lesson for women 〜試乗車利用ペーパードライバークラス〜」
審査員特別賞	●経営学科1年 礪田徹 「バーチャル・クローゼット」 ●公共経営学2年 枝澤由利 「携帯で『なりたい自分』になるメイク」 ●経済学科3年 椋木崇光 「ブログ留学」 ●経営学科4年 洲之上和良 「呼び出し音を広告に『CMコール』」	

第6回 (2008年度)	学長賞	●商学科3年 阿部紫野 「QRコードで誰でもやさしいショッピング【UNIQURO】 〜 UNIVERSAL × QuickResponse × CLOTHING 〜」 洋服ショッピングでわからないことがあったら、タグについているQRコードをビッツ！商品情報+αをかんたん確認！携帯電話が自分専用のスタッフとなって、障がいのある人にもない人にも快適なショッピングを提供♪
	副学長賞	●商学科3年 桑原弘宗 「書けルんです！」
	東大阪商工会議所会頭賞	●経営学科1年 菊池宏弥 「プロデビュー.com 〜アマチュアからプロアーティストへの登竜門〜」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科3年 出海朱絵 「ENJOY!! 通販Life!! 〜通販オリジナル商品試着サービス〜」
審査員特別賞	●経営学科2年 土居脩司 「広告記載で無料配布ノート」 ●商学科2年 花輪有一 「楽しめ〜る切符」 ●経済学科3年 伊藤光平 「サンタでGO!!」	

第7回 (2009年度)	学長賞	●経済学科2年 間中貴史 「不合格グッズシリーズ ～本気の人以外はゼッタイに使用しないで下さい!～」 常々思っていた、受験シーズンに流行る多数の「合格グッズ」。いずれも神頼みなど他力本願的なもので、本当に効果のある物かどうか疑わしい。そこで「合格グッズ」に異を唱える形で生み出したのが「不合格グッズ」だった。本当に合格するための物で、中途半端な気持ちで買うのは難しいだろう。
	副学長賞	●経済学科1年 平田拓嗣 「～きちんと捨てて学校を美しく～『ポイントBOX』」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●商学科4年 出海朱絵 「CSR (小さなキャップで!スマイル増やしてリサイクル!!) ～エコキャップアーティストが地球を笑顔にする～」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科2年 清家横 「プリントらくらくめくれ～」
	審査員特別賞	●経営学科3年 岡本良介 「2段階飲料水」 ●経済学科3年 串田達哉 「～アンテナショップで地方活性化～『田舎屋』」 ●経営学科3年 山本竜太 「二度寝防止くん」

第10回 (2012年度)	学長賞	●経営学科2年 田中伸我 「着火線香」 着火線香とは、現在ある線香をより強固するため、圧縮加工・調合段階で固くする薬品を使うことで固くした線香に、マッチの火薬の含まれた赤い部分を線香の片側先端に付け火がつけやすく、危険も少ない、さらに使用しやすくなった新しい線香です。
	副学長賞	●経営学科3年 岸畑雅美 「ポップコーンブーケ～大切な人の大切な記念日に～」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●商学科2年 林亜祐美 「いいとこいっぱいいいきりんかるた」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科4年 大西七瀬 「イヤホールジャンクしょん」
	審査員特別賞	●経営学科2年 長崎悠 「ドアノブカラーアート」 ●商学科3年 水原春佳 「絶景!!夕焼けガイドブック」 ●商学科4年 寺西和也 「Remains遊園地潜入ツアー」
企業賞	●商学科2年 金田諒平 「なくしても見つかる双子ストラップ」 ●公共経営学科2年 松井歩美 「Thankyoumama!キット」 ●経営学科2年 八木有人 「ふんわりと匂いのする携帯カバー」 ●公共経営学科2年 山崎大 「ワイヤークラフト組立キット～楽しくリハビリ～」	

第8回 (2010年度)	学長賞	●商学科2年 松村真生 「この傘かったって～」 傘の内側にある開閉時にスライドさせる部分(＝下ろくろ)に付けた2つの突起を、人差し指と中指で引っ掛け、柄の部分の部分を身体に当てて引っ張ります。その結果、片手で閉じられるようになります。また、製作については「平らな面と突起のある型に変えるだけ」+「機械にたよらない手動」のためのコストが大幅に抑えられます。
	副学長賞	●商学科4年 村上公規 「Twitter×Waiter」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経済学科2年 中西明 「なんでもやるゾー!!小さな仕事OK!」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科3年 杉山祐脩 「スタンパー!?～何所でも楽々、装着式傘立て～」
	審査員特別賞	●経営学科1年 白瀬幹雄 「ケータイで簡単!野球場でグルメ注文システム」 ●商学科1年 中郷裕崇 「『もう捨てさせません!!』コンビニ弁当 ～ピピピ!とメールで売れ残りゼロへ～」 ●経済学科3年 阿部竜作 「Akiyado～空き家を利用した会員制別荘サービスの提案～」

第11回 (2013年度)	学長賞	●商学科3年 岡本梨沙 「脂肪もコストも燃焼!!フィットネスクラブ」 これは利用者の運動量に比例して割引額が増えるシステムを導入したフィットネスクラブです。利用者の努力次第で月会費額を減らすことができるため、フィットネスクラブの主な退会理由である「お金がかかる」「モチベーションが続かない」等の不便・不満点を解消することができます。そして発電型フィットネスマシンや太陽光発電の利用によって、電気代の削減だけでなく売電収益を得られ、経営可能とさせることができます。
	副学長賞	●経済学科4年 林玲央奈 「ハンズフリー買い物カゴ」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経済学科4年 田代翔太 「オシャレ蛍光ワッペン」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経済学科2年 片岡長祥 「広告パーク」
	審査員特別賞	●商学科1年 山口綾乃 「トライくんとブリクラ撮ろう!」 ●経営学科2年 蔵下真美 「ロケット綿棒」 ●経営学科3年 中西健朗 「ふれあい・ベクト広場」 ●経済学科4年 野田将 「～WorldChips～」
企業賞	●公共経営学科2年 中本良輝 「ザグザグシアター」 ●経営学科3年 石田幸多 「ラクラクプラグ～テラシー君～」	

第9回 (2011年度)	学長賞	●経営学科2年 岸畑雅美 「パフォーマンスバー」 このアイデアは、披露する場がないアマチュアパフォーマンスをターゲットにしたビジネスです。客はバーの食事代金500円につき1枚オリジナルコインがもらえ、そのコインをパフォーマンスにチップとして好きだけ渡します。パフォーマンスはもらったコイン1枚につき50円が食事代から割り引かれます。パフォーマンスには技術相応のチップが支払われ、向上心の向上になります。
	副学長賞	●経営学科3年 遠藤元大 「旅行なう」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経済学科3年 和田悠 「eye棒」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科2年 岡本梨沙 「100kcalお総菜屋さん」
	審査員特別賞	●経営学科2年 中村建太 「タイムロック～誘惑にロックを時間で開く錠～」 ●経営学科2年 吹上文音 「訳あり食材を創作料理に～どんな訳も素敵に変身～」 ●経営学科4年 杉山祐脩 「府りかけ“隠れ名産見い～つけた”」 ●経済学科4年 桂木聡 「～人・企業・地球、みんながよろこぶ～ 『フリーレンタルサイクル』」

第12回 (2014年度)	学長賞	●経済学科4年 田代翔太 「ラグビーボール型寄せ書き用ジグソーパズル」 ラグビーボール型の立体的な3Dジグソーパズルです。ただ作って完成のパズルではなく、文字を書くことができ、寄せ書きをしてプレゼントすることができます。使用方法は、まず、プレゼントする人はパズルを完成させて、みんなで寄せ書きを書きます。そして、またばらばらにして箱に戻し、プレゼントします。プレゼントしてもらう人は、そのジグソーパズルを組み立てながら、寄せ書きがどんどん見られるようになっていき、完成させると、すべての寄せ書きが見られるということです。ただ単に色紙に書いて渡すのでは面白くないが、この商品の利点は、プレゼントする人もしてもらう人も楽しめる、良い思い出作りができる点です。
	副学長賞	●経営学科1年 伊集大悟 「大型車専用カーナビ」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●商学科3年 三井紀子 「マジカル☆キャリッパ〜口紅がおちない〜」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科3年 坂本達也 「家事っ子〜血洗い編〜」
	審査員特別賞	●商学科1年 渡邊葵 「らくらくコーディネートアプリ 〜天気に合わせて自分だけの着回し術〜」 ●公共経営学科3年 大谷知也 「ランナー用チャリティー自販機」 ●商学科3年 吉田沙織 「左手よこれぬ」 ●経営学科4年 田中伸我 「ラクラク洗濯バサミ止まる君」
	企業賞	●経済学科1年 林輝 「スクラム咲くらむ〜花園の花を咲かせよう〜」 ●経営学科4年 田中伸我 「子育てハンガー〜恥ずかしがりやな動物たちに服を!〜」

第13回 (2015年度)	学長賞	●商学科2年 隠樹真由子 「するっと」 私がこのアイデアを思いついたのは、保育園のボランティアをしたときです。自分で靴を履きたいけどまだ手が小さくて履けない、履けたけど左右を逆に履いているというところに着目しました。子どもの上靴についているタグに「するっと」をつけるだけで誰でも簡単に靴を履くことができます。ひばる部分には、今人気のキャラクター、無地の物、色が分かれている物など使う人によって使い分けできるようにしたいです。この商品の一番の目的は子どもの自立性を高めることです。この商品が商品化され多くの人に広まってくれることを期待しています。
	副学長賞	●商学科4年 水原春佳 「目標達成カウンター 21」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●商学科3年 平峠佑望 「らくらくプラグ〜横並びコンセント対応型〜」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科1年 藤川功基 「達成帳（お手伝い帳、自習帳、ダイエット帳など）」
	審査員特別賞	●経営学科1年 長谷川雄基 「Advertiseカフェ」 ●商学科1年 福岡保准 「目覚まし腹巻き」 ●経済学科2年 久保利勇太 「[ハバの休憩所] 〜退屈から家族で楽しくショッピングへ〜」
	企業賞	●経営学科2年 清水千歳 「温故知新文化情報発信型ホームページ」 ●経営学科1年 高畑圭大 「フタがパズルになる弁当箱」 ●経営学科2年 樋口静音 「音量調節インターフォン」

第14回 (2016年度)	学長賞	●商学科1年 古川晴加 「ごみもはいるやん」 たくさんの方が、外出先で館を食べた時、ごみを捨てるためにごみ箱を探したり、カバンのポケットにしまおうと思います。それでは、ごみ箱を探すのが面倒、ポケット内でごみが散らばるといった問題があります。それらを解決するのが「ごみもはいるやん」です。大きい館の袋を中央で縦に仕切り、2つポケットを作ったものです。片側には館を入れ、もう片側には食べた後のごみを入れることができるという商品です。
	副学長賞	●経済学科1年 木村有希 「ぼちっとな〜不審者侵入禁止ボタン〜」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経済学科2年 中岡智哉 「歯ブラシちゃかちゃか」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科2年 眞鍋梨乃 「ポケット布団カバー」
	審査員特別賞	●経営学科1年 黒田尚希 「エコパッキン「ストッパーくん」」 ●経済学科1年 長濱理子 「〜ついたてスタンド〜」 ●経営学科2年 藤川功基 「Made in Japan paper 〜紙の可能性で暮らしを豊かに（東南アジア編）〜」
	オーディエンス賞	●公共経営学科4年 野田健人 「洗うこと知らない10回使える箸」 ●経営学科2年 眞鍋梨乃 「ポケット布団カバー」

※企画賞該当アイデア無し。

第15回 (2017年度)	学長賞	●経営学科3年 藤川功基 「場所を取らない瞬間組み立て子ども椅子」 瞬間組み立て子ども椅子とは、平らな段ボールを組み立てて子ども用の椅子を作るというアイデアです。また、このアイデアの最大の魅力は組み立てた椅子を平らな段ボールに戻すことができるため、場所をとらないということです。瞬間で組み立てることができ、仕組みもかなりこだわったことで私も立てるほどの強度にすることができました。また、段ボールなので子どもたちが自由にお絵かきできるなど、独創性を伸ばすことができます。
	副学長賞	●商学科2年 古川晴加 「缶たん水分カッター」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●公共経営学科2年 足立芽生 「バンデライズカラシップ〜“生涯金融教育型奨学金”〜」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科2年 仲谷さくら 「マトリョーシカドアストッパー」
	審査員特別賞	●経済学科1年 平田敦揮 「残りがわかるアルミホイル」 ●経営学科1年 阪口輝虎 「ラクラクCut」 ●商学科2年 青野英世 「ありがとう葉書（贈り物の受領者の便利アイテム）」 ●商学科2年 杉浦正弥 「断線しにくい君」
	企業賞	●経営学科3年 横井咲樹子 「プラゴミボイ」 ●商学科2年 内尾啓汰 「レンチ式ドライバー」 ●経営学科2年 角田陸太郎 「段ボール猫ジム」
オーディエンス賞	●経営学科3年 藤川功基 「場所を取らない瞬間組み立て子ども椅子」	

第16回(2018年度)	学長賞	●公共学科1年 澤村知紗 「Return of the Licenseカード (RLカード)」 RLカードは、高齢者が運転免許を自主返納した際にもらえるICカードです。多くの機能を持ち、高齢運転者による交通事故を減らし、さらに、高齢者の社会的孤立といった2つの大きな社会問題を解決に導きます。地域通貨がポイントになり、地域のコミュニティ限定で使えるようにすることで、地域活性化に貢献します。自然とコミュニティ参加を促し、高齢者は地域社会との繋がりを持つことができ、心身の健康をもたらすことで、将来的には、医療介護費用など国の費用を抑え、現代世代の健康保険の保険料が減るといった三方よしのサービスです。
	副学長賞	●経営学科2年 高田夢海 「[「マンスリー・デイBox」 Monthly Day Box]
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経営学科3年 松浦怜未 「めくるクルン」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科4年 藤川功基 「LCCや海外の飛行機でも屈しない ムービー見放題貸出タブレット」
	審査員特別賞	●経済学科2年 西口太誠 「綺麗な仏具に…万能ロウ、線香取り」 ●経営学科2年 宮下颯一郎 「段ボール着火剤」 ●商学科2年 富士本集己 「おかえりチャイム」 ●商学科3年 古川晴加 「液体香りま専用ごみ袋」
	企業賞	●商学科3年 杉浦正弥 「いつでも分かる水量メーター」 ●商学科1年 堀之内恵璃 「取り付けガーメントバッグ」 ●経営学科4年 畦地 亮 「動物の納棺オーダーメイド」
オーディエンス賞	●公共学科1年 澤村知紗 「Return of the Licenseカード (RLカード)」 ●経営学科2年 宮下颯一郎 「段ボール着火剤」	

第17回(2019年度)	学長賞	●経営学科3年 宮下颯一郎 「ゆでたこ足コンセント」 ゆでたこ足コンセントの目的は、色によって危険度を可視化することで配線器具による火災を予防する意識を向上させることです。この商品の特徴は2つあります。1つ目は火災の危険度に合わせて色が変化することです。通常は白色ですが、40℃に達すると黄色に、火災の危険が非常に高くなる50℃に達すると赤色に変色します。2つ目は、シールタイプを採用することです。シールタイプを採用することにより、既存の電源タップにも使用可能であり、安価で提供することが可能です
	副学長賞	●経済学科1年 亀野 空 「飲食店の長居を防止するシステム 「あいてんで!!」 "AITENDE!!"」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経営学科2年 垣本楓香 「おしぼりセルフQRシステム」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科2年 内藤咲蘭 「メジャー型ベルトケース」
	審査員特別賞	●経営学科3年 橋本奈那美 「ブラインドシェルフ」 ●商学科4年 古川晴加 「クリップなのに!!? 4Wayスタンドクリップ」 ●商学科4年 高野有梨 「猫よけシートカバー」 ●経営学科3年 岩淵朱莉 「棚変え本棚」
	企業賞	●公共経営学科4年 市田卓海 「最強!座ったままで何でもとれる棒!」 ●経営学科3年 宮下颯一郎 「変形!段ボールから椅子に」
オーディエンス賞	●経営学科3年 宮下颯一郎 「ゆでたこ足コンセント」	

第18回(2020年度)	学長賞	●経営学科3年 西谷美紅 「農クシオン nou-ction」 農クシオンは、「農作物に付けられている価格が労働と見合っていない」という考えから生まれました。そこで、生産プロセスも開示すれば生産者の顔が見える販売だけでは伝わらない作業やこだわり、自然からの影響などが消費者にもわかってもらえると思いました。アプリ上に生産者が生産プロセスや販売商品のデータをアップロードし、消費者に閲覧してもらい購入を促します。流通経費や価格決定権、チップ形式で支援出来たりと工夫しました。
	副学長賞	●商学科3年 馬場真一 「Myインソール」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経済学科4年 西口太誠 「掃き掃除ならこれ一本! マルチほうき!」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●公共経営学科4年 山本裕貴 「スマートリュック」
	審査員特別賞	●経済学科4年 今城友寿 「スーツお預かりさん〜通勤先のオフィスに スーツを預ける福利厚生サービス〜」 ●経済学科3年 森田舞香 「省スペースで!力持ちバレリーナ型ハンガー」 ●経営学科3年 桑島早彩 「学校も仕事もこれを持ってみんなオシャレ!」 ●商学科2年 徳田裕二郎 「ネスミ型振動ブザーマウス」
	企業賞	●経営学科3年 佐藤杏威 「携帯型レジ袋ちゃん」 ●公共学科1年 滑川雄基 「マスク忘れを解消万能エコバック」

※新型コロナウイルスの影響により無観客で開催した為、オーディエンス賞の選出はありませんでした。

第19回(2021年度)	学長賞	●商学科3年 玉井梨緒 「スリムホルダー」 私の考えた「スリムホルダー」は、ネックレスを絡まらないように収納し、持ち運ぶことが出来る薄型のケースです。特徴は絡まらないこと、薄くてかばんに入れやすいことの2点です。革生地の展開など色や素材にもこだわって販売します。そして、ネックレスを着用する年代は様々なので、年齢層ごとの4P戦略で販売方法を変えて提供します。また、需要幅拡大の為、男性にはギフトでの販売も行います。環境にも優しい、多くの人を幸せにすることが出来る商品です。
	副学長賞	●経営学科3年 野中麻妃 「子供用セルフレジ」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経済学科3年 山岡大樹 「安心・安全・お得に本を買うアプリ」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科3年 野中麻妃 「防犯虫除けブザー」
	審査員特別賞	●経済学科2年 久我竜輝 「マウスマホケース」 ●経済学科2年 宇野優輝 「街の安全を守る健康アプリ」 ●経営学科2年 佐古愛佳 「4Way エコバッグ」 ●商学科2年 田中かのん 「Customバッグ」 ●経営学科1年 青木大喜 「大商大×お弁当「商ちゃん弁当」」

※企業賞該当アイデアの選出はありませんでした。

※新型コロナウイルスの影響により無観客で開催した為、オーディエンス賞の選出はありませんでした。

第20回 (2022年度)	学長賞	●商学科1年 森本都生 「くるっばクリップボード」 私のアイデアは既存のクリップボードに新しいアイデアを追加したものです。既存のクリップボードは紙を裏返す際、クリップから紙を外し裏返さないといけません。そのため必ず両手を使わないといけず、さらにクリップを外す時、下に重ねてあった紙がズレたり落ちたりします。私のアイデアはクリップが180度回転します。回転することにより、片手で素早く紙をクリップから外さずに裏返すことが出来ます。これにより紙を気軽に両面使用することもでき、SDGsにも繋がります。
	副学長賞	●公共学科2年 田中 翔 「らくらくお薬ばこ」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●商学科2年 阪口遥海 「古いベン」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●商学科3年 有賀勇真 「谷岡記念館レトロ喫茶」
	審査員特別賞	●経済学科3年 永井柚帆 「脱げない、痛くない、邪魔しないヒールカバー」 ●商学科2年 阪口遥海 「すっぱりin (スッポリン)」 ●公共学科1年 山口起留 「肘置き&ボトル洗剤収納型バスチェア」
	企業賞	●経営学科1年 飯田朝陽 「3way踏み台BOX」
	オーディエンス賞	●商学科2年 阪口遥海 「すっぱりin (スッポリン)」

第21回 (2023年度)	学長賞	●商学科4年 左近のぞみ 「洗う時に便利?!水跳ねしないお玉」 「洗う時に便利?!水跳ねしないお玉」は調理器具を洗う人を対象とした商品です。従来のお玉はカーブしている所に水が当たると、外に向かう水の勢いを抑えるものがなく広範囲に水が跳ねてしまいました。しかし、「水跳ねしないお玉」はお玉の中央部分から外側に向かって三重の凹凸が付いていることで、水の勢いを抑えることができ、水が跳ねにくくなります。また、3重の凹凸が目盛りとなっており大きさ1、大きさ2、1/4カップの3種類の計量をすることができます。
	副学長賞	●経営学科4年 藤田彩華 「どこでもごみばこ」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経営学科3年 乾口翔大 「手助けドア」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●公共学科2年 三宅愛未 「2way ピンセット・トング」
	審査員特別賞	●商学科2年 秦 美羽 「型取り下敷き」 ●経営学科3年 鎌田翔太 「バス空席丸わかりシステム」 ●経営学科4年 小山蒼夢 「安眠できるネックピロー」 ●商学科2年 柳澤志哉 「枕変身カバー」
	企業賞	●経済学科3年 倉元拓摩 「多機能クリップ〜何個あっても困らない〜」 ●経済学科2年 尾田豪太 「文庫本専用本棚 (仮称)」
	オーディエンス賞	●経営学科4年 藤田彩華 「どこでもごみばこ」


第22回 (2024年度)	学長賞	●経営学科2年 大西凜華 「底開き花瓶」 アイデア名は、「底開き花瓶」です。この商品は、名前の通り、「従来の花瓶の底が開く」というとてもシンプルな商品です。この商品考えたきっかけは、母親が「底が開く花瓶とかはどう?」と言ってくれたのがきっかけでした。その理由が、生け花を家で飾っていて、そのお花から「洗わないことによる悪臭」・「花瓶の底に溜まったぬめり」があったからです。そこで、考えたのが、底が開くことによって、洗うこともでき・ぬめりも解消できる「底開き花瓶」です。
	副学長賞	●商学科3年 森本都生 「全面保護型ブックカバー」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●商学科2年 水時優聖 「品切れ報告システム」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科4年 松本 陸 「目視くん」
	優秀賞	●商学科2年 工藤瑚花 「キャリアケースと圧縮袋が合体?!」 ●商学科2年 中村朱花 「一人でファスナーを上げられるベルト」 ●商学科2年 西村明日香 「折り込みレシートボックス」 ●公共学科3年 山口起留 「万代フードギャラリ-」
	企業賞	●経営学科2年 瑞慶覧長太 「最後まで使えるキレイボトル」 ●商学科3年 堀内智貴 「万代フードギャラリ-」
	オーディエンス賞	●商学科2年 水時優聖 「品切れ報告システム」

第23回 (2025年度)	学長賞	●商学科2年 高岡向葵 「カモフラージュ洗濯ネット」 「カモフラージュ洗濯ネット」とは、男性物の服の形をした洗濯ネットです。この製品は「女性が、安心・安全にベランダに洗濯物を干したい」というニーズに応えた商品です。洗濯物を干す際に、カモフラージュしたい服の上にかぶせて使用します。そうすることで一見、男性物の服を干しているように見え、洗濯物で女性の一人暮らしだと分かりにくくなります。ニーズに応えるため、洗濯物をカモフラージュしながら、品質を担保して、安全に外に干すことを実現させる」商品を考えました。
	副学長賞	●商学科4年 森本都生 「ふむやつ」
	東大阪商工会議所 会頭賞	●経営学科3年 市木康太 「TI (タイ) 字カミソリ」
	NPO法人 東大阪地域活性化 支援機構理事長賞	●経営学科3年 増野ソフィア美羽 「のりがいらない!シールで貼るだけシート」
	優秀賞	●商学科3年 西村明日香 「くるっと印鑑ケース」 ●経営学科3年 福本拓実 「『ツインズ・スプレー』」 ●商学科2年 湯澤 滯 「ベルトキーブクリップ」 ●商学科1年 渡邊璃王 「『ありえへん!』超チーズ弁当」
	企業賞	●経営学科2年 平岡龍也 「トリプルガード」 ●経営学科2年 阪本優人 「なんでも書けるホワイトタンク」
	オーディエンス賞	●経営学科3年 市木康太 「TI (タイ) 字カミソリ」

# 大商大ビジネス・アイデアコンテスト 学生のアイデアが「商品」として誕生!



「世に役立つ人物の養成」を建学の理念とする大阪商業大学では、ビジネス社会における諸問題を発見し、そして解決できる能力の育成を目指し、起業家精神あふれる人材を育成しようとする取組の一環として、「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」を開催しています。  
学生自身が考案したアイデアを「かたち」にするため、連携企業協力のもと、打合せ、試作品の製作、市場調査、商品名の検討、ラッピングデザインの検討等の過程を実践します。  
実際に学生のアイデアから商品として発売された取組を紹介します。

### 「Ecoスライドシューズラック」




『Ecoスライドシューズラック』とは、棚がスライドすることによりサイズ変更が可能な、ダンボール製のシューズラックです。

【第20回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】において、審査員特別賞を受賞。  
連携企業（保険提供企業）のマツダ精工工業と連携し、打合せ、市場調査、商品名の検討を経て、商品名「Ecoスライドシューズラック」として商品化が実現しました。  
このアイデアの特長は2つあり、1つ目は棚をスライドさせ、幅を調節することで、スペースに合わせて設置することができます。2つ目は下洗いや災害時の避難所等でも使用でき、ダンボール製のため廃棄も容易でエコな商品であるというメリットがあります。



阪口遥海さん（総合経営学部商学科 2025年3月 卒業）

### 「水のはねにくいお玉」




『水のはねにくいお玉』とは、日常生活でお玉を洗う時にお玉からの水はねで衣服を濡らすという不便を解決する商品です。

【第21回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】において、学長賞を受賞。  
連携企業（保険提供企業）のスマイルキッズと連携し商品化に向け打合せ、市場調査（他社情報、価格、材質等）を経て、「水のはねにくいお玉」として商品化が実現しました。  
スマイルキッズを通じて海外クラウドファンディングに取り組み、R7年2月、楽天市場で販売が開始されています。



左近のぞみさん（総合経営学部商学科 2024年3月 卒業）

### 「電動式香炉の灰ふるい」




『電動式香炉の灰ふるい』とは、手軽に香炉灰のお手入れができ、お仏壇まわりをきれいに保つことができる商品です。

【第16回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】で審査員特別賞を受賞し、「アイデア名（輪廻な仏具に一方能く、除香取）」旭電機化成株式会社においてビジネスインターンシップを開始し、アイデアを「かたち」にする挑戦に取り組みました。自宅が仏具店を営んでいる強みを生かして、来店客に対してアンケートを実施するなど、消費者の声を商品に反映する形で検討を重ね、商品として販売されました。



西口太誠さん（経済学部経済学科 2021年3月 卒業）

### 「マルチオープナー」「ルーペ付らくらくオープナー」




『マルチオープナー』『ルーペ付らくらくオープナー』とは、力の弱いお年寄りやネイルをした女性が、ペットボトルやゼリー飲料等のキャップを楽に開けることができ、さらにルーペ付ドライバーなどの便利な機能も兼ね備えた多機能オープナーです。

【第18回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】への応募をきっかけに旭電機化成株式会社においてビジネスインターンシップを実施しました。H27年10月から継続して打ち合わせを行い、市場調査、消費者モニター会、東京インターナショナルギフトショーへの参加を経て、H28年9月に旭電機化成株式会社の会場で商品化が決定し、H29年6月に商品として発売されました。



中岡智哉さん（経済学部経済学科 2019年3月 卒業）

### 「ねこのコンセントカバー」




『ねこのコンセントカバー』とは、コンセント火災（トランキング火災）を防ぎ、部屋をオシャレに演出する可愛くて安全なコンセントカバーです。

【第19回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】で大阪商工会議所会館賞を受賞（アイデア名「らくらくプラグー-ねこコンセント知覚型-」）。旭電機化成株式会社においてビジネスインターンシップを実施しました。H27年11月から約15回もの打ち合わせを行い、アンケート結果によるアイデアの変更や消費者モニター会でのアンケートの実施を経て、H29年3月に商品として発売されました。



平峰佑望さん（総合経営学部商学科 2017年3月 卒業）

### 「迷惑電話お断りピンポン」




『迷惑電話お断りピンポン』とは、ボタンを押して「ピンポン」と鳴らすことでお客様が来たことを装い、しつこい勧誘や保険の営業などに不快な思いをさせずに電話を切る手助けをしてくれる商品です。

【第13回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】への応募をきっかけに旭電機化成株式会社においてビジネスインターンシップを実施しました。  
H26年10月から約20回もの打ち合わせを行い、アンケート調査、商品承認会議（旭電機化成株式会社）でのプレゼンテーションを経て、H28年9月に商品化が決定し、H29年4月に商品として発売されました。



乾 由佳さん（総合経営学部商学科 2017年3月 卒業）

### 「マグネット反射ワッペン」



『マグネット反射ワッペン』とは、車のライトなどの光が当たると、自分の存在を知らせることができる高輝度反射ワッペンです。歩行者の服やカバン、帽子など自分の思いのところに貼り付けることができる、オシャレな交通安全対策商品です。

【第11回大商大ビジネス・アイデアコンテスト】において、大阪商工会議所会館賞を受賞。  
連携提供企業の旭電機化成株式会社と連携し、H25年7月から商品化に向けて何度も打ち合わせを行い、アンケート調査、商品承認会議を経て、H26年7月に「マグネット反射ワッペン」として商品化が実現しました。

田代翔太さん（経済学部経済学科 2015年3月 卒業）

# 第22回 大商大 ビジネス・アイデアコンテスト 海外ビジネス研修 in台湾

期間：2025年2月13日(木)～2月16日(日)

国を越え現地の方と心を通わせることによって、いつまでもあせることのない思い出と人間関係を築き、その国の良さを知り、同時に日本の良さにも気づく研修としました。

- 現地で活躍する企業を視察する
- 各日の担当がリーダーシップを発揮し、その日の活動をコーディネートする
- 現地の大学生とスポーツや学外散策を行い交流を図る
- ホームビジットを行い、その国の生活を学び、人との交流を図り、異国での人間関係を構築する
- 研究機関を視察し、現地で活動されている方から活動内容を聞き交流を図る



## 海外ビジネス研修 事前学習

海外ビジネス研修(2025.2.13～2.16 台湾:台北市)の事前学習として、台湾からの留学生との交流、語学学習、台湾関連のDVD鑑賞、担当教員から台湾の歴史等のレクチャーを開催し、台湾との関係づくりに関する交流につなげるきっかけづくりとして実施しました。

<b>海外ビジネス研修説明会</b> 2024年11月21日(木) 12:20～12:50 海外ビジネス研修について (場所・日程・内容) 詳細は別冊(海外研修案内)を参照	<b>英会話English Cafe</b> 2025年2月20日(木) 15:15～16:00 海外ビジネス研修での利用と英会話の重要性について	<b>台湾を知ろう!!</b> 2025年2月19日(水) 18:00～18:40 リアクト1階ホールA1 台湾の歴史・文化・観光について	<b>留学生による語学学習交流 Chinese Cafe, Cebu Cafe</b> 11月22日(木) 12:20～12:50 11月26日(月) 12:20～12:50 12月10日(木) 12:20～12:50 12月17日(木) 12:20～12:50	<b>台湾関連DVD鑑賞 「KANO 1931年の向こうの甲子園」及び台湾からの留学生と交流</b> 平成26年1月10日(金) 18:00～18:40 リアクト1階ホールA1
---	---	--	---	--



## 第22回 大商大 ビジネス・アイデア コンテスト 海外ビジネス研修 報告会

2025年2月13～16日に開催された海外ビジネス研修(台湾)に参加された、**水時優聖さん(3年 商学科)**、**大西凜華さん(3年 経営学科)**、**森本都生さん(4年 商学科)** からお報告いただきました。現地での貴重な経験を在大学生にも共有し、海外に興味を持っていただくきっかけとして開催いたしました。

なお、報告会の運営は、学生運営委員が担当いたしました。

2025.07.17(木) 12:20～12:50

場所：ユニバーシティホール蒼天

- プログラム
1. 開会
  2. 海外ビジネス研修概要説明・報告者紹介
  3. 報告
  4. 質疑応答
  5. トークセッション
  6. 閉会

### 学生運営委員

- 【1年生】 太田みさえ(経済学科) 川端彩日(経済学科) 二反田結衣(経済学科)  
服部茉莉奈(経済学科) 藤田雪華(商学科)
- 【2年生】 八木結愛(商学科) 松尾直樹(公共学科)
- 【3年生】 新免怜奈(経営学科) 長光萌(商学科)
- 【4年生】 阿部萌霞(経営学科)

# 第23回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト ×学生運営委員

令和7年10月25日(土)開催

## 学生運営委員紹介

大商大ビジネス・アイデアコンテストの最終審査となるファイナル・ステージの運営は、学生サポーター10名が行いました。司会・ステージマネジメント・表彰式の運営等、本番では、思いもよらないイレギュラーな出来事にも、落ち着いて学生たちで対応しました。また、12月13日に開催された「全国高等学校ビジネスアイデア甲子園」の運営にも携わりました。



- 総合経営学部経営学科 4年 阿部 萌露さん
- 総合経営学部経営学科 3年 新免 怜奈さん
- 総合経営学部商学科 3年 長光 萌さん
- 公共学部公共学科 2年 松尾 直樹さん
- 総合経営学部商学科 2年 八木 結愛さん
- 経済学部経済学科 1年 太田 みさえさん
- 経済学部経済学科 1年 川端 彩日さん
- 経済学部経済学科 1年 二反田 結衣さん
- 経済学部経済学科 1年 服部 茉莉奈さん
- 総合経営学部商学科 1年 藤田 雪華さん

## 今年度コンテスト時の運営の様子



## 学生のアイデア商品化実現

### 第21回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト スマイルキッズ株式会社協力のもと、商品名「水のはねにくいお玉」として販売

大阪商業大学の特色教育である起業教育の一環として開催しています「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」において、総合経営学部商学科 4年左近のぞみさん(2024年3月卒業)学長賞を受賞、課題提供企業のスマイルキッズ®と連携し商品化にむけ打合せ、市場調査を経て、「水のはねにくいお玉」として商品化が実現しました。  
このアイデアを生み出した経過として、家族ぐるみで問題提示から問題の解決策を生み出した家族会議の存在がありました。左近さんのお姉さんが家で家事をしている時にお玉からの水はねで衣服を濡らすという不便を前々から感じていて、提案したことから始まりました。その解決策として、水の勢いを抑えるためにお玉の底を平面にしたり、凹凸を付けたりして、家族で実験を繰り返し、生み出されたのが今回の商品です。

#### 【アイデア誕生から商品化までの経過】

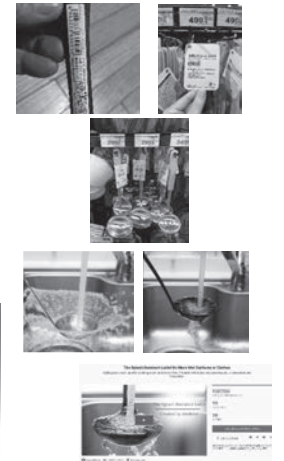
2023年10月28日	第21回大商大ビジネス・アイデアコンテスト 学長賞受賞
2023年11月20日	スマイルキッズ社と打合せ ・左近さんが市場調査を報告(他社情報画像多数・価格・材質など) ・形状、材質などの検討を始める
2024年2月6日～8日	第97回東京国際インターナショナル・ギフト・ショー春2024 試作品を展示し、ヒヤリング調査を実施
2024年4月～6月	製品形状決定に向けて試作品を作成し、水はねの効果を実験
2024年10月～11月	製品化に向けてパッケージ検討
2024年12月11日～2025年1月24日(45日間)	海外クラウドファンディング(kickstarter)
2025年1月1日	日本経済新聞社 日経MJ 正月特別編集「関西がおもしろいを作る」において、「水のはねにくいお玉」が掲載される
2025年2月～	楽天市場で商品の発売開始

#### 【新聞・テレビ番組等で紹介されました】

- ◇新聞◇
- 2025年1月1日 日本経済新聞社 日経MJ 正月特別編集「関西がおもしろいを作る」
- 2025年2月18日 MBS ラジオ AM1179 「ヤマヒロのびかっつとモーニング」
- 2025年2月22日 日本経済新聞プラス1 お役立ちグッズ
- 2025年4月14日 ZIP キテルネ



「水のはねにくいお玉」 大阪商業大学



# 学生のアイデアから生まれた 「水のはねにくいお玉」 がスーパーマーケット万代で販売!!

大阪商業大学の特色教育である起業教育の一環として開催しています「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」において、総合経営学部商学科4年左近のぞみさん(2024年3月卒業)が学長賞を受賞。課題提供企業のスマイルキッズ(株)と連携し、商品化にむけた打合せ、市場調査を経て「水のはねにくいお玉」として商品化され、大商大ビジネス・アイデアコンテストにおいて課題提供企業でもあるスーパーマーケットの万代で販売されることになりました。



● 商品取扱店 ●

御厨店, 中小阪店, 布施店, 巽北店,  
ニトリモール東大阪店, 森河内店  
の6店舗



新聞、テレビ・ラジオ番組等でも紹介されました！

- 2025年1月1日 日本経済新聞社 日経MJ 正月特別編集「関西がおもしろいを作る」
- 2025年2月18日 MBSラジオAM1179「ヤマヒロのひかっつとモーニング」
- 2025年2月22日 日本経済新聞プラス1「お役立ちグッズ 水跳ねのお悩み解消」
- 2025年4月14日 日本テレビZIP「キテルネのコーナー」
- 2025年4月17日 読売KODOMO新聞「なにわのエジソン木原さんに続け！ 若き発明家たち」
- 2025年5月29日 毎日新聞「生活便利グッズ開発」



## 学生のアイデア商品化実現



### 第20回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト

マツダ紙工業株式会社協力のもと、商品名「Ecoスライドシューズラック」として販売

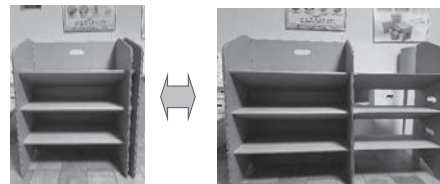
大阪商業大学の特色教育である起業教育の一環として開催しています「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」において、総合経営学部商学科4年阪口運海さん(2025年3月現在)審査員特別賞を受賞したアイデア『すっぽり in (スッポリン)』は、課題提供企業のマツダ紙工業(株)と連携し、打合せ、市場調査を経て、商品名『Ecoスライドシューズラック』として商品化が実現しました。

この『Ecoスライドシューズラック』とは、棚がスライドすることによりサイズ変更が可能な、ダンボール製のシューズラックです。このアイデアの最大の特徴は2つあり、1つ目は棚をスライドさせ、横幅を調節することができるのでスペースに合わせて設置することができます。2つ目は下宿先や災害時の避難所等でも使用でき、ダンボール製のため廃棄も容易でエコな商品であるというメリットがあります。

#### 【アイデア誕生から商品化までの経過】

2022年10月29日	第20回大商大ビジネス・アイデアコンテスト 審査員特別賞受賞
2023年2月21日	マツダ紙工業(株)第1回試作品完成
2023年4月6日	第1回打合せ 市場調査報告(価格・材質・他社比較等)
2023年5月18日	第2回打合せ
2024年2月22日	第3回打合せ 試作品使用レポートを報告(価格帯、販売先、販売方法、試作品の使用状況等)
2024年3月~8月	使用素材の検討
2024年9月13日~12月10日	大阪商業大学附属幼稚園で試作品の仮使用
2024年12月16日	大阪商業大学附属幼稚園でのアンケート調査報告
2025年3月13日	商品名の検討・決定 商品名：Ecoスライドシューズラック
2025年3月	商品の販売を決定

アイデアの最大の特徴であるスライドし横幅を調整できることと、素材がダンボールであるため、環境にも優しいエコな商品です。





## 大商大ビジネス・アイデアコンテスト



スマイルキップ株式会社の協力のもと、商品名「水のはねにくいお玉」として販売

当時学生であった左近のぞみ様（総合経営学部商学科2024年3月卒業）が考案したアイデアから商品「水のはねにくいお玉」を製作した連携企業であるスマイルキップ株式会社専務取締役原守男様をお迎えし、高校生たちに大阪商業大学の特色教育である起業教育の一環として取組んでいる大商大ビジネス・アイデアコンテストでの商品化プログラムについて語っていただきました。トークセッションでは、左近様へはコンテストに応募しようと思ったきっかけ、アイデアを考案するときの苦労、一連の取組みによって成長できたこと等を語っていただきました。スマイルキップ株式会社専務取締役 原守男様からは、本コンテストの取組みで感じられたこと、左近様との商品化の取組みで印象に残ったこと等を語っていただきました。



スマイルキップ株式会社  
専務取締役  
原守男

大阪商業大学  
総合経営学部商学科卒業  
(2024年3月卒業)  
左近のぞみ

### 「大商大ビジネス・アイデアコンテスト」トークセッション



#### 「第21回大商大ビジネス・アイデアコンテスト」 学長賞受賞

2023年度 卒業生の左近さんが大商大ビジネス・アイデアコンテストを通じて取り組んだ商品開発の経験と、その過程で得た学びや成長について紹介する。学生のアイデアが実際に商品化されるまでの道のりと、企業側との連携がいかに学生の力を引き出すかが語られました。

## NO.1

### 小さな気づきを、商品アイデアへ

左近

アイデアを考えるときに一番苦労したのは、便利な商品や既に多くの困りごとが解決されているという現状でした。そのため、新規性や独創性のあるアイデアを出すのはとても難しかったです。それでも、「自分が普段感じているちょっとした不便さ」に注目し、誰かの役に立つかもしれない視点を見つけようと思えました。

原専務

大商大ビジネス・アイデアコンテストは私たちにとって商品開発のきっかけとなっています。毎年約800件から1,000件の応募がある中で、私たちが気づいていなかった視点やポイントを学生たちが捉え、新商品の提案をしてくれます。商品開発の最初のきっかけや狙うジャンル、いろいろな市場のニーズや困りごとによって気づかせるので、大変ありがたい存在です。主催者側の仕組みが長期的にしっかりしていて、教職員との関係も良く、企業として取り組みやすい雰囲気があり、私たちも積極的に次々と商品を生み出そうという気持ちになることができる良いコンテストだと感じています。



## NO.2

### プレゼンテーションと試作品の工夫

左近

ファイナル・ステージで多くの観客の前で発表するにあたり、特に力を入れたのは商品の良さをいかにアピールできるかという点です。自分のアイデアに自信がなければ、その良さは相手に伝わらないと感じました。セミファイナル・ステージに進んでいく中で、アドバイスをいただいた方に「自分のアイデアに自信がなければ商品のアピールはできない」と言われ、その言葉を聞いてから自分の考えに自信を持つことができました。また、試作品も自分で作り、その特徴である「水のはねにくい」という点を動画を通して説明し、視覚的にわかりやすく伝えました。いろいろな説明の方法があると思いますが、コンセプトを明確に試作品もできていたため、参加者や審査員に商品の良さを理解してもらえたと思います。

原専務

左近さんのプレゼンは説得力がありました。特に、試作品が完成度高く仕上がっていて、さらに動画でもその特徴を的確に伝えられていたことが素晴らしいです。普通はこの段階で動画まで作れる学生は少ないのですが、左近さんはそこまで仕上げたため、開発期間が大幅に短縮でき、商品化までスムーズに進みました。一般的には1.5倍〜2倍の期間がかかるため、学生が卒業してしまうことも多いのですが、今回は特別に早く進みました。



左近

商品開発では、アイデアを形にする過程で何度も試行錯誤がありました。自分のイメージ通りに試作品ができなかったり、思わぬ課題が出てきたりするたびに、その都度改善策を考えることが大切だと実感しました。完成までには時間もかかりましたが、諦めずに挑戦し続けることで、自分の考えが具体的な形になっていく楽しさを感じることができました。



# NO.3

## 実社会で生きる学びと成長

原専務

一番大事なのが「差別化」です。今までの商品にない特徴がこの商品の中にあるかないかが売れるかどうかの大きな分岐点になりますし、なおかつその商品の特徴について、みんなが「欲しい」と思えるような差別化ができていくかどうか、そこが重要なポイントです。今回の「水のはねにくい」という点には他に、動画でも説得力があり、そこが商品化へと進んだ最大の決め手となりました。



原専務

商品開発で一番気をつけているのは、クレームが出ない商品かどうかです。販売後に苦情が多く寄せられてしまうと、それは大きな問題です。また、安全・安心に使っていただけるかどうか、危険な商品ではないかという点も非常に重要視しています。価格設定についても市場で競争できる適正な価値を見極める必要があります。そして一番大切なのは「差別化」です。今までにない特徴があるか、そしてその特徴が消費者にとって魅力的かどうか売れるかどうかの大きなポイントになります。今回の「水のはねにくい」という特徴は他にないものであり、動画でもその良さが説得力をもって伝えられたことが最大の決め手となりました。左近さんは試作品をよく作り込み、説得力ある動画を作っていたため、通常1.5倍から2倍かかる開発期間も短縮できたのです。

左近

今回の取り組みを通してコミュニケーション能力が大きく成長したと思います。大学生活では学生同士や先輩とのやりとりが中心ですが、このコンテストを通じて企業の方や先生方など社会人の方と接する機会が増えたことで、社会人になってからも役立つと思います。社会人になると年上の方と話す機会が多くなり、萎縮しがちですが、この経験があったので自信を持って接することができています。



# NO.4

## 未来への挑戦と大学とのつながり

左近

私は現在、小売業のスーパーマーケットで働いていますが、本社に商品開発の部門もあります。今回のコンテストで得た経験を活かして、将来的には商品開発の分野に進んでみたいと思っています。本学では「やるかやらないか迷ったらやる」という言葉が伝えられており、チャレンジしたい学生を支えてくれる先生方が多いので、何事も積極的に挑戦できる良い環境であったと思います。

原専務

大商大ビジネス・アイデアコンテストは、学生全員が参加できるプログラムであり、挑戦を通して学生の成長が目に見える形で感じられます。授業だけではなく、こうした実践的な経験ができるのはこの大学の特徴であり、非常に魅力的です。私たち企業も学生と共に取り組む中で、1年から1年半ほどで社会人と対等に話せるように成長していく様子を見ています。この経験を通して学生には自信をつけてほしいと思います。担当の先生方や職員の方々の温かい応援もあり、多くの学生が満足して卒業していくのを実感しています。私もこの取り組みに参加して12年になりますが、本当に良かったと思っています。ぜひ多くの学生が参加し、商品開発にチャレンジして自分の成長につなげてほしいと思っています。左近さんも今回の経験で自信をつけ、今後の活躍を大いに期待しています。

商品開発にチャレンジして自分の成長につなげてほしいです！

コミュニケーション能力が大きく成長したと思います！

スマイルキッズ株式会社 専務取締役  
原 守男

1993年頃より20年間で生活に密着した自社商品を800アイテムほど開発販売

大阪商業大学 総合経営学部 2024年3月卒業  
左近 のぞみ

2023年度 第21回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト 学長賞受賞

## 商品化にむけての経過

2023年 10月	学長賞 受賞	第21回 大商大ビジネス・アイデアコンテスト ファイナルプレゼンテーション 学長賞受賞
2023年 11月	打合せ開始	市場調査を報告(他社情報画像・価格・材質等) 形状・材質などの検討開始
2024年 2月	第97回東京インターナショナル・ギフト・ショー 春2024	試作品を展示し、ヒヤリング調査を実施
2024年 4~6月	仕様の検討開始	製品形状決定に向けて試作品を作成 水はねの効果を実験
2024年 10~11月	パッケージ検討	製品化に向けパッケージ検討
2024年 12月~1月	クラウドファンディング	12/10~1/23(45日間) 海外クラウドファンディング(kickstarter)
2025年 2月~	販売開始	楽天市場で販売開始



### 商品紹介

水の勢を抑えるためにお玉の底を平面にしたり、凸凹を付けたりして、家族で度重なる実験を繰り返し、生み出されたのが今回の「水のはねにくいお玉」です。本商品はお玉の内側に独自の模様を入れ、洗う時の水はねを減少させるという商品です。課題提供企業のスマイルキッズと連携し、1年程度の時間を要して商品化され、楽天市場で販売が開始されました。

水のはねにくいお玉

検索

大阪商業大学  
Osaka University of Commerce

大商大ビジネス・アイデアコンテスト  
大学からニュービジネスを創る

